

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			R5当初 予算額	予算への 反映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
1	シェアサイクル実証 実験	都市計画課	<p>【担当課の要求どおりで良い】</p> <p>利用実績が増加傾向にあることから、市民ニーズがあると考えられ、引き続き実証実験を継続すべきと考えます。 ただし、現状のまま本格実施へ移行するのではなく、現時点においても、利用状況データ等を用いて分析するとともに、現在の課題についても適切に対処し、その上で本格実施に向けた検証を行ってください。 また、市の土地を無償提供するということは、市民のための施策であるべきなので、利用者はもちろん、利用していない市民からも幅広い声を聞きながら、事業者と連携してより良い制度構築を行ってください。</p>	<p>事業判定会の結果を踏まえ、引き続き実証実験を継続します。 令和5年度は事業者と連携し、幅広く市民ニーズの把握や利用状況の分析に努め、併せて現在の課題解決にも取り組みながら、令和6年度の本格実施に向けて準備を進めてまいります。</p>	0	0		0	担当課の 要求を反映
2	チャレンジショップ 事業	産業観光課	<p>【事業内容を一部見直す】</p> <p>中心市街地を活性化させるという目的でチャレンジショップを設置することについては賛成しますが、事業者の開業支援のための事業としては予算規模が大きく、市の負担も大きいと感じます。 また、事業主体として想定するまちづくり会社については、運営状況が悪化した場合、多額の税を投入せざるを得ない事態も想定されることから、まちづくり会社を含めた運営については、最小限の予算で効率的な運営ができるよう、事業内容を精査してください。</p>	<p>最少の経費で最大の効果があげられるよう、令和5年度は、運営費及び整備費の予算要求を見送り、マーケティング調査を実施し、整備場所や規模、募集事業者数等を精査します。 また、まちづくり会社を含めた運営について、市も出資者の一員として参画し、最小限の予算で効率的な運用ができるよう、まちづくり会社が自走できる運営の実現を目指します。</p>	4,500	4,111	<p>当初予定：運営費及び整備費（4,500） 変更後：コンサルによるマーケティング調査を実施（4,111）</p>	4,000	担当課の 要求を一部反映

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			R5当初 予算額	予算への 反映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
3	地域共生を目指すひきこもりサポート事業	共生社会推進課	<p>【事業内容を一部見直す】</p> <p>ひきこもりの方やその家族が相談できる場所や居場所づくりなど、支援の必要性は認識していますが、設置場所については、利用者の利便性や障がいの有無にかかわらず誰もが来やすい場所とするため、支援拠点となり得る障がい福祉サービス事業所がある志木駅前以外の場所についても検討が必要であると考えます。</p> <p>また、施設の規模についても、利用状況に応じた広さとするなど、スタート時点から多額の予算をかける必要があるか、事業内容と合わせて精査してください。</p> <p>さらに、志木市で推計される対象者が700人程度であるものの、現在把握している人数が14人であることを踏まえると、支援を必要とする人へのアウトリーチが大変重要であることから、事業実施にあたっては、障がい福祉サービス事業所、地域自立支援協議会（しきまる）や教育機関などさまざまな機関と連携を図り、より多くの人への支援機会の創出を図ってください。</p>	<p>事業判定会の結果を受けて、今後の取り組みについて再度精査した結果、現段階で多額の予算をかけて事業をスタートするには、準備不足であると判断しました。本事業実施に向けて、いただいたご指摘を踏まえ、令和5年度については以下の取組を実施します。</p> <p>(1) 若年層世代における不登校・引きこもりの現状分析 引きこもりになる方の6割（令和2年度滋賀県調査57.8%）が不登校を経験しているとの分析があることから、若年層世代に対して2つの調査を実施し、必要な支援を検討します。</p> <p>① 教育サポートセンターと連携した実態調査（小・中学生） 不登校支援を所管する教育サポートセンターと連携し、本市の小・中学生の実態を調査する。</p> <p>② ヤングケアラー調査との連携（高校生） 小・中・高校生を対象に実施を予定しているヤングケアラー調査のうち、高校生に対しては、引きこもりの実態調査も含めます。</p> <p>(2) 成人年齢における引きこもりの現状分析 しきまるプロジェクト等を通じ、引き続きアウトリーチを行うとともに、実態の把握方法や、本人だけではなく保護者に対する支援策等を検討します。</p>	10,208	0	現状分析及び精神障がい者地域移行プロジェクト（しきまるプロジェクト）等を踏まえて実施する。	0	担当課の要求を反映
4	秋ヶ瀬総合運動場スケートパーク整備事業	生涯学習課	<p>【事業内容を一部見直す】</p> <p>新たなスポーツの機会を創出するために、スケートパーク等のアーバンスポーツができる施設を整備することについては賛成できます。</p> <p>しかしながら、担当課の提案は、施設整備後の具体的な管理運営方法についての想定が十分ではないことから、これらについて再検討を行った上で、施設の規模・内容等について見直しを行う必要があると考えます。また、提案ではテニスコート跡地の一部のみを活用して整備することとしていますが、現在不足している駐車場の整備等も含め、跡地全体の活用を検討する必要があると考えます。</p> <p>さらに、秋ヶ瀬運動場施設における運用方法だけではなく、市全体のスポーツ施設の方向性や、アーバンスポーツの普及啓発の手法も含め、スポーツ施策としての総合的なビジョンを、さまざまな市民の声を拾い上げながら明確に示してください。</p>	<p>事業判定会の結果を踏まえ、志木市スポーツ推進計画に基づく市の総合的なビジョンを確立し、秋ヶ瀬運動場施設全体が安全で、より賑わいのある施設となるよう、駐車場の整備や施設整備後の具体的な運営管理方法等も含め再検討します。</p> <p>また、令和5年度においては、スケートパーク設置に係る市民ニーズを適正に把握するため、スケートボード体験会に係る予算要求とします。</p>	29,990	2,200	当初予定：秋ヶ瀬運動公園スケートパーク新設工事（29,990） 変更後：スケートボード体験教室（2,200）	10	担当課の要求を認めない
合 計					44,698	6,311		4,010	